

# コミュニティパワー事業における市民の出資動機

宮澤大喜

キーワード：コミュニティパワー、再生可能エネルギー、PIMBY事業  
市民出資、自己利益、利他主義、コミットメント

## 1. 研究背景と目的

近年、国際的な潮流から再生可能エネルギーの普及の重要性を指摘する声が高まっている。日本においても、再生可能エネルギー固定買取制度（FIT：Feed-in Tariff）の成立以降、大企業に代表される地域外資本が、行政からの補助金を活用することで大規模な再生可能エネルギー事業を推進してきた。しかしながら、こうした地域外資本による再生可能エネルギーの普及方法は、様々な問題が散見されるため、コミュニティパワー事業が注目されてきている。コミュニティパワー事業とは、地域が事業を所有し、地域が事業の意思決定を行い、地域に利益が配分される事業のことを指す。こうしたコミュニティパワー事業では、市民出資という形での資金調達が盛んに行われており、様々な出資動機が考えられる。先行研究では、風力発電に焦点を当て、出資動機を、環境運動因子、経済因子、コミットメント因子という3要因に大別していたが、出資動機としては、経済的利益に対置される非経済的出資動機や利他的な動機が考えられる。加えて、FITによって増えた太陽光発電事業に対する出資動機は問われていない。そこで、本研究では、センらが作った（1）自己利益、（1-1）経済的要因、（1-2）非経済的要因、（2）利他主義、（2-1）利己主義、（2-2）真の利他主義、（3）コミットメントの区別を基に、太陽光発電事業に対する出資動機を明らかにすることを目的とした。

## 2. 研究方法

本研究では、京都市市民共同発電事業への出資者に対してアンケート調査を行い、コミュニティパワー事業への出資動機を調査した。また、出資口数に応じた出資動機および個人属性の分析に関しては、STATA12を用いて、ロジスティック回帰分析を行った。

## 3. 結果と考察

本研究で扱った京都市におけるコミュニティパワー事業においては、上記の出資動機の中で（3）コミットメントが最も重要視される出資動機であることが明らかとなった。また、出資動機として、収益性よりも環境への貢献という要因が出資を促進しているということが示唆された。つまり、コミュニティパワー事業への出資が、従来の

利益を得るための手段としての投資ではなく、個人レベルでの社会的責任投資（SRI : Social Responsibility Investment）という側面を持つ可能性があることが示された。